

選択的夫婦別姓・陳情アクション信州、上田市社会福祉協議会、上田市教職員組合、上田市商工会と懇談会

◆8月に、党市議団が「選択的夫婦別姓・陳情アクション」信州の代表のみなさん、総務文教委員会が上田市社会福祉協議会役員、上田市教職員組合役員と懇談会を開きました。また、丸子・武石市議会議員連絡会が上田市商工会役員との懇談会を開きました。

◎上田市社会福祉協議会との懇談会

★ 社会福祉協議会の概要について

平成 18 年に合併後の事業概要について

新規事業 上田市ファミリー・サポート・センター事業など 11 事業

廃止事業 上田市身体障害者デイサービス事業など 12 事業

★ 令和元年東日本台風(台風19号)被害のボランティア活動と課題

・ボランティア活動参加総数は452人

(内訳は長野大学229人、上田青年会議所23人、日本郵政労組9人、上田西高校17人、ほこほこネット77人、侍学園24人、丸子ボランティア連絡協議会3人、個人ボランティア70人。)

～課題として、災害救援ボランティアセンター設置場所の確保などの説明があり、意見交換しました。～

★ 新型コロナウイルスに対する社会福祉協議会の対応

・緊急小口資金 申請者数557人、8,679万円

・総合支援資金 申請者数218人、1億1,475万円

上記二つの相談件数 1,786件

・たすけあい資金(上田市独自のもの:追加補正として300万円)

相談件数18件 申請者数15人 75万円

合計 相談件数1,804件、総数790人、総額2億229万円

・住宅確保給付金相談件数326件、申請者数40人、888,300円

～留学生の生活困窮についても意見交換しました～

★ 総合福祉センター建設について

・平成 26 年 12 月議会において「総合福祉センター建設に関する陳情」が市議会にだされ採択したものです。

・現在の市社会福祉協議会の事務所は、旧上田郵便局の建物を活用しています。老朽化がすすんでおり、市も一部改修費について補正予算を組んで対応しています。



8月写真通信



【写真の説明】 <左上から下へ> ◆8月15日、終戦の日に高村京子県議と党上田市議団が上田駅前街頭宣伝。◆丸子消防署が主催する AED 普通講習(3時間コース)に長瀬地区会議役員3人で参加。◆9月1日、国道254号線平井バイパスが一部開通。
 <中央上から下へ> ◆9月1日0時から三才山トンネルが無料化となった。供用開始は、1976年(昭和51年10月31日)、有料化期間は43年11か月でした。総交通量は、約1億3150万台。念願の無料化が実現した。写真のパネルは私の手作りです。◆昨年の台風で架け替えが必要となった内村橋の第2回目の説明会があり、当初計画より8か月短縮され開通予定は、令和3年11月末となった。
 <右上から下へ> ◆8月9日、NHKEテレで「無言館の扉 語り続ける戦没画学生」として放送。◆8月19日にはSBCテレビの特集シリーズ戦後75周年で「10歳の少年が見つめた戦争 価値観覆った75年前のあの日」がサブタイトルで島田さんへのインタビューが放送。それぞれ興味深く視聴した。◆原爆が投下された8月、市内の各公民館では原爆パネル展が開催された。写真は城南公民館。